

旧南落合小学校跡地を活用した特色ある教育施設の誘致に向けた

市民ワークショップ通信

Vol.3～最終号～

旧南落合小学校跡地施設を活用した特色ある教育施設の誘致に向けた市民ワークショップ通信 Vol.3 ～最終号～
発行（事務局）：〒206-8666 東京都多摩市関戸 6-12-1 多摩市企画政策部企画課 Tel.042-338-6813 fax.042-337-7658

■ ワークショップの意見がまとまりました！

平成 19 年 1 月 20 日(土) 時折小雪も舞う中で「第 3 回 旧南落合小学校跡地を活用した特色ある教育施設の誘致に向けた市民ワークショップ」が行なわれました。これまで2回の活発な議論を踏まえ、ワークショップとしての意見がまとまりましたので、ご報告いたします。



■ グループ作業で自分の考えを

以上のやりとりの後、今回は参加者を 2 つのグループに分けてグループ作業を行なっていただきました。具体的には、各々の人が持つアイデアや意見を付箋紙に書いて張り出し、類似するものをまとめたりして、議論を深めるという形で進めていただきました。**【意見の詳細は裏面をご参照ください】**



■ まず、これまでの議論を再確認

これまで2回のワークショップでは、市のこれまでの検討経過や特色ある教育施設の誘致という方針に対する質疑が数多く交わされました。その背景には、市が「ワークショップの前提条件を明確に伝えきれていなかった点がある」との考えから、これまでの議論のまとめとして、冒頭に以下の事項を説明させていただきました。

- ☞市は、これまでの検討の経過から「特色ある教育施設」の誘致を前提としていること
- ☞条件を考えていくのにあたっては、『「共生・共存」をどのように実現するのか』が鍵となること
- ☞ワークショップの目的は、特色ある教育施設のイメージを参加者同士で考えていくこと

これに対して、『前提としている「特色ある教育施設の誘致」は、どの段階まで決まっているのか?』という質問が改めて出されました。この点については、誘致という方向性は「学校跡地施設の恒久活用方針」という行政計画の中で決定していること、今回のワークショップなどを通じて必要な条件の洗い出しを行なっていきたいこと、最終的に誘致が実現するためには、予算審議など市議会でのチェックを要することをご説明しました。

また、『誘致の目的は収益をあげる 것인가、何らかの活用をすることが目的なのか』とのご質問もありましたが、この点については「特色ある教育施設の誘致により地域の活性化を図ることが目的」であることを再度説明させていただきました。

この他、「ニュータウンは、計画的につくられたまちであり、そのグランドデザインを継承し、夢のある志を示してほしい」、「広い意味での教育を考えてほしい。例えばリタイア世代のための職業訓練、ヘルパーや介助者育成のための専門学校などがあれば、地域に寄与するのではないか。」というご提案をいただきました。

■ 全体発表、そしてまとめへ

グループ作業の後には、各グループからそれぞれ代表者が前に出て、グループ意見のまとめを発表していただきました。

現状の活動は地域の活性化に寄与しており、今あるものを生かしたい。利用を損なわないようにしてほしい。

森や緑を子どもたち・動物たちに残したい。

- ・心地よい場所
 - ・楽しめる場所
 - ・あらゆる世代が集まれる明るい場所
- ただ、共存できるか否かわかならない現状では、具体的な教育施設誘致は考えられない**

最終的に、真剣に議論をした結果であるそれぞれのグループの発表は共に尊重すべきものとして、両グループのまとめ双方を今回のワークショップの結論とすることとなりました。

■ ワークショップを終えて…

今回のワークショップには、平成 18 年 9 月 30 日(土)の第 1 回ワークショップから、延べ 137 人の方々にご参加いただきました。「具体的な教育施設のイメージ」については、「現時点ではわからない」とのことから、具体的なご提案はいただけませんでした。率直なご意見をいただきましたことに、心より御礼申し上げます。

また、あまり議論されなかった「地域の記憶」という点では、「残っている卒業制作は全て校内施設に取り込んでほしい」との貴重なご意見もありました。

今後、市では今回のワークショップの結論や、これらの意見、市民アンケート結果などを参考に、誘致にあたって必要な条件整理を行い、誘致計画という形でまとめていく予定です。誘致計画がまとまった際には、改めて市民の皆さん、利用者の皆さんにもお知らせしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

【グループA作業の様子】

グループ A での自由意見



- ◎地域の人が主体となった団体の活動の場とする
- ◎地域の活動の場として現状の施設の一部を残して欲しい
- ◎現在の校舎を補修すれば良い費用で公民館の代わりに使用できる
- ◎土地は売らないで貸すこと
- ◎老人の集まりの場として現状のサークル場をうばわないで
- ◎現状のサークル活動→地域活性の一つの形、形状サークルを大切にしたい
- ◎市民が使いつづける為に売却はしない欲しい、全面的に譲渡によって市民が使えないのでは困ります
- ◎我々のサークル活動そのものが多摩市の地域活性化、コミュニケーション、親睦に結びつく活動である。バッドタウ
- ンの多摩市では、サークル活動こそがコミュニティの場であり、公共施設は各サークルの種い合いになっている。跡地利用が何とか保ってきたもの（サークル活動には大変な努力が必要）であり、その場を失いたくないし、多くの市民の意向を無視するような結論には決してしてほしくない。
- ◎現在の利用者の取得権を守るような条件を譲渡の条件にして欲しい。
- ◎教育施設に土地を売るのではなく貸与する。
- ◎環境配慮について、現在の環境を維持してください
- ◎教育委員会が所管する教育施設にして欲しい。◎落合には他に自由に使える大きな施設はありません、福祉関係でも文化的にもここは残して欲しい所です。
- ◎この土地は売らない、その上で今使っているサークルが充分使用できる場を確保した上で、後に施設を作る事には賛成だ。
- ◎利用者の権利を第一に守るべき、くらしを活性化し、生涯学習施設の充実を図るべき。税金は住民の生活を豊かにする為に使うべきで、金をケチるために住民福祉を犠牲にする事はやめるべき。
- ◎障がい者、高齢者福祉施設の拡充は是非に大切な政策で、そのこと税金削減のためにつぶされてはいけないと思う。
- ◎時代変化は早い、幅の狭い方向性に固執すべきでなく、方向性を時代とともに変化できるぐらいの考えのやり方がある。

現状の活動は地域の活性化に寄与しており、今あるものを生かしたい。利用を損なわないようにしてほしい。

森や緑を子どもたち・動物たちに残したい。

- ・心地よい場所
 - ・楽しめる場所
 - ・あらゆる世代が集まれる明るい場所
- ただ、共存できるか否かわからない現状では、具体的な教育施設誘致は考えられない

グループ B での自由意見

- ◎森・緑を残すとして
- ◎狸、リスの遊ぶ庭
- ◎緑の中の無料サロン
- ◎雑木林とカーテニング教室
- ◎里山に戻す、自然科学を学ぶ
- ◎多摩丘陵であった当地をより元の状態に近づける、自然（森林）を復活させた中での教育施設誘致が。

- ◎グラウンド、体育館、大人も子供も共有できる場所、スポーツ！
- ◎心地良いホッとする場所
- ◎明るい雰囲気でもから大人が楽しめる場所
- ◎楽しめる場所としたい
- ◎あらゆる世代が集まる施設
- ◎子供の声も聞きたい
- ◎子どもにとっても高齢者にとっても（みんなにとって）くつろげる場所に

- ◎グラウンド、子どもの活動の場としてのグラウンド
- ◎芝生の広場（本格サッカー場）
- ◎農科大学の分室
- ◎ハーブティーの作り方教室
- ◎共存できるか否かわからない、現状では具体的な教育施設誘致は考えられない
- ◎方針や誘致についてはきりどきりどきり分らない、現状では具体的な施設誘致は考えられない
- ◎教育施設は誘致したくない
- ◎生涯学習の場として開放してくれる
- ◎誘致するのはどのような所が良いかわからない、当地の有効活用デザインの中に一部教育機関の施設があるべき（福祉、教育、趣味全てを網羅した施設、場所にしたい）
- ◎教育施設としては市民（地域の人）が自由に入り出りてきえる内容の施設を
- ◎100年計画、1000年計画、永久に残る施設
- ◎地域や年齢層に合わせた教育施設
- ◎避難地域としての機能

